

平成 31 年度 第 69 回東海学生新進テニス選手権大会

予選注意事項

1. 予選日程表にコール締め切り時刻が記載されているので、必ずその時刻までにウェアを着用または持参し本部にコールを取りに行くこと。遅刻をした場合は失格とする。
2. 試合は原則としてセルフジャッジで行う。
3. ウォーミングアップはサービスのみとする。
4. ボールは敗者ボールとする。勝者は試合終了後スコアをただちに本部まで届け出ること。
5. 試合形式は 8 ゲームプロセットマッチ、8 ゲームオール後タイブレークとする。
6. 雨天の際の処置
 - ①朝から雨が降っている場合
 - ・中止等の連絡はすべてホームページに掲載し、東海学生テニス連盟主将主務ラインにも流す。
何も書かれていない場合は、必ず会場に行き、コールを取ること。来なかった場合は棄権とする。
 - ・電話による問い合わせには一切応じない。
 - ・雨天延期の場合、**日程及び会場が変更になることがあるので、ホームページをこまめに見ること。**
 - ②試合途中で雨が降ってきた場合
 - ・ロービングアンパイアの指示に従うこと。
 - ・試合をしている両選手の同意があれば試合を中断してもよい。
 - ・中止が決定された場合、途中試合のものも含めて後日試合を行うので、ロービングアンパイアが指示するまで待機すること。
7. 日没に関する処置
 - ①日没試合は原則として次のラウンドが行われる日の会場で、30 分前コールで行う。
 - ②他の注意事項はすべて雨天の際の処置に準ずる。
8. ウォークオーバーについて
 - ① 本部にコール締め切り時刻までにコールを取らなかった場合
 - ・時間はロービングアンパイアの時計を絶対のものとする。
 - ・ダブルスの場合は二人揃わなければコールを認めない。
 - ・更衣、あるいはウェアを持参してコールを取ること。
 - ② 公共交通機関の遅延、ストライキにより遅れた場合は、遅延証明の提出によりコールの受付を認める。
9. 試合中、プレイヤーはいかなる指導や助言も受けてはならない。

10. 本大会はポイントペナルティー制度を採用する。試合中に理由のない遅延をしたり、スポーツマンシップに反する行為をとった場合、主審またはレフェリーが警告及び失点、失格をとることがある。

11. ウェアについて

(公財) 日本テニス協会競技規則に定められたテニスウェアを着用すること。選手は、清潔でプレーにふさわしいと認められたテニスウェアを着用しなければならない。ウェアの適否はレフェリーが最終判断し、必要に応じてチェアアンパイ（またはレフェリー）より、服装の交換を指示される。

① テニスウェア

テニスウェアとは、男子の場合、シャツとショーツ、女子の場合、ワンピース、またはシャツとスカートまたはショーツとする。ただし、**ロゴの無いテニスウェアは禁止とする**。また、当連盟主催の大会ではシャツは半袖のものとし、**長袖はテニスウェアとして認めない**。

※T-シャツ、ランニングシャツ、ランニングパンツ、ジーンズその他の不適切なウェアは、ウォームアップ中でも着用できない。

※ウェアを裏返したり、ロゴに粘着テープを貼ったりしたものは、不適切なウェアとして着用できない。

② アンダーウェア

アンダーウェアとはテニスウェアの下に着用するものである。これに関してはテニスウェアから出ている部分が無地、あるいは**テニスウェアと同じくワンポイント**であればよい。